



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社 ユタカ技研 上場取引所 東  
 コード番号 7229 URL http://www.yutakagiken.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大野 仁 TEL 053-433-4111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	40,408	14.2	3,445	3.7	3,372	2.6	2,015	△14.7	1,615	△16.8	2,848	135.4
27年3月期第1四半期	35,374	—	3,322	—	3,286	—	2,363	—	1,941	—	1,210	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	108.98	—
27年3月期第1四半期	130.96	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	150,619	81,778	70,767	47.0	4,775.53
27年3月期	145,661	79,331	68,665	47.1	4,633.69

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	77,000	—	5,000	—	5,000	—	3,500	—	2,700	—	182.20
通期	160,000	10.4	12,000	4.4	12,000	0.3	8,500	△4.3	6,500	△13.4	438.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	14,820,000株	27年3月期	14,820,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	1,296株	27年3月期	1,296株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	14,818,704株	27年3月期1Q	14,818,749株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は平成27年3月期の有価証券報告書における連結財務諸表から、国際会計基準（IFRS）を適用しております。また、前年同四半期及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましてもIFRSに準拠して表示しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	3
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(6) セグメント情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果等により、緩やかな回復基調で推移しましたが、更なる消費税増税等の懸念要素もあり、先行きは不透明な状況にあります。一方で世界経済は米国経済が底堅く推移していることに加え、中国経済や新興国経済も鈍化傾向とはいえ成長を続けており、景気拡大基調で推移しております。

このような環境のなか、当社グループは、国内市場における顧客からの受注減少や車種構成差等による影響があったものの、主に海外市場における顧客からの受注増加に加え、為替相場が円安基調で推移しており、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、404億8百万円（前年同期比14.2%増）、営業利益34億4千5百万円（前年同期比3.7%増）、税引前四半期利益33億7千2百万円（前年同期比2.6%増）、四半期利益20億1千5百万円（前年同期比14.7%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益16億1千5百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

（日本）

国内市場における顧客からの受注減少や軽自動車部品の構成増等による減収影響により、売上収益88億5千8百万円（前年同期比20.9%減）、営業損失3億4千1百万円（前年同期は営業利益2億円）となりました。

（北米）

顧客からの受注増加に加え円安効果もあり増収となったものの、新機種対応や能力拡大投資に伴う費用の発生により、売上収益154億8百万円（前年同期比26.4%増）、営業利益7億8千1百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

（アジア）

顧客からの受注増加に加え円安効果もあり増収となったものの、インドネシア四輪事業やタイ新工場の立上げ費用の発生により、売上収益74億4千万円（前年同期比20.9%増）、営業利益2億3千万円（前年同期比63.7%減）となりました。

（中国）

顧客からの受注が増加したことに加え、円安効果もあり、売上収益124億4千2百万円（前年同期比26.5%増）、営業利益25億3千8百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

（その他）

顧客からの受注増による増収効果により、売上収益は18億5千6百万円（前年同期比13.1%増）、営業損失3千5百万円（前年同期は営業損失7千万円）となりました。

（注）上記に記載しているセグメント別の売上収益は、外部顧客への売上収益とセグメント間の内部売上収益の合計であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、主に現金及び現金同等物や営業債権及びその他の債権が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ49億5千8百万円増加し、1,506億1千9百万円となりました。

負債につきましては、借入金や営業債務及びその他の債務、その他の流動負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ25億1千万円増加し、688億4千1百万円となりました。

資本につきましては、主に利益剰余金や非支配持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ24億4千7百万円増加し、817億7千8百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は205億5千5百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は55億7千5百万円（前年同期比79.5%増）となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の増加額や法人所得税等の支払額による支出がありましたが、税引前利益や営業債務及びその他の債務の増加額、減価償却費及び償却費による収入が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は28億8千9百万円（前年同期比3.3%減）となりました。これは主に新機種投資に伴う有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は1億8百万円（前年同期比95.2%減）となりました。これは主に短期借入金の純増額による収入がありましたが、長期借入金の返済による支出や配当金の支出額等が上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年6月26日の「平成27年3月期 決算短信〔IFRS〕」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下に記載する会計方針の変更を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当第1四半期連結累計期間より、以下の基準を採用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IAS第19号 従業員給付	確定給付制度における従業員と第三者による拠出に関する改訂

上記の基準書等については、当第1四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度末 (2015年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2015年6月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	20,032	22,739
営業債権及びその他の債権	31,802	33,903
棚卸資産	26,346	25,568
その他の流動資産	2,305	1,348
(小計)	80,485	83,558
売却目的で保有する資産	—	371
流動資産合計	80,485	83,929
非流動資産		
有形固定資産	60,024	61,439
無形資産	875	955
その他の非流動資産	1,389	1,287
繰延税金資産	2,888	3,009
非流動資産合計	65,176	66,690
資産合計	145,661	150,619
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	34,393	35,053
借入金	14,293	15,543
未払法人所得税等	1,054	1,359
その他の流動負債	2,171	2,775
流動負債合計	51,911	54,730
非流動負債		
借入金	9,756	9,213
退職給付に係る負債	2,590	2,574
繰延税金負債	1,444	1,620
その他の非流動負債	630	704
非流動負債合計	14,420	14,111
負債合計	66,330	68,841
資本		
資本金	1,754	1,754
資本剰余金	566	566
利益剰余金	59,168	60,487
自己株式	△2	△2
その他の資本の構成要素	7,179	7,962
親会社の所有者に帰属する持分合計	68,665	70,767
非支配持分	10,665	11,011
資本合計	79,331	81,778
負債及び資本合計	145,661	150,619

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
売上収益	35,374	40,408
売上原価	28,273	32,941
売上総利益	7,101	7,467
販売費及び一般管理費	3,846	4,012
その他の収益	86	86
その他の費用	19	96
営業利益	3,322	3,445
金融収益	43	38
金融費用	79	111
税引前四半期利益	3,286	3,372
法人所得税費用	923	1,357
四半期利益	2,363	2,015
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付負債(資産)の純額の再測定	—	—
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	10	3
純損益に振替えられることのない項目合計	10	3
純損益に振替えられることのある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,163	830
純損益に振替えられることのある項目合計	△1,163	830
その他の包括利益(税引後)合計	△1,153	833
四半期包括利益合計	1,210	2,848
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,941	1,615
非支配持分	422	400
四半期利益	2,363	2,015
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	904	2,398
非支配持分	306	449
四半期包括利益合計	1,210	2,848
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	130.96	108.98

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

区分	注記	親会社の所有者に帰属する持分					
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2014年4月1日残高		1,754	566	52,324	△1	—	△0
四半期利益		—	—	1,941	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	—	5
四半期包括利益		—	—	1,941	—	—	5
自己株式の取得及び売却		—	—	—	△0	—	—
配当金		—	—	△282	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		—	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計		—	—	△282	△0	—	—
2014年6月30日残高		1,754	566	53,984	△1	—	5

区分	注記	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
		その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
		在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2014年4月1日残高		2,087	2,087	56,730	9,607	66,337
四半期利益		—	—	1,941	422	2,364
その他の包括利益		△1,042	△1,037	△1,037	△116	△1,153
四半期包括利益		△1,042	△1,037	904	306	1,210
自己株式の取得及び売却		—	—	△0	—	△0
配当金		—	—	△282	△85	△367
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		—	—	—	—	—
所有者との取引等合計		—	—	△282	△85	△367
2014年6月30日残高		1,045	1,050	57,353	9,828	67,181



(単位：百万円)

区分	注記	親会社の所有者に帰属する持分					
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						確定給付負債(資産)の純額の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動
2015年4月1日残高		1,754	566	59,168	△2	—	15
四半期利益		—	—	1,615	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	—	2
四半期包括利益		—	—	1,615	—	—	2
自己株式の取得及び売却		—	—	—	—	—	—
配当金		—	—	△296	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		—	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計		—	—	△296	—	—	—
2015年6月30日残高		1,754	566	60,487	△2	—	16

区分	注記	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
		その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
		在外営業活動体の換算差額	その他の資本の構成要素合計			
2015年4月1日残高		7,164	7,179	68,665	10,665	79,331
四半期利益		—	—	1,615	400	2,015
その他の包括利益		782	783	783	50	833
四半期包括利益		782	783	2,398	449	2,848
自己株式の取得及び売却		—	—	—	—	—
配当金		—	—	△296	△103	△400
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		—	—	—	—	—
所有者との取引等合計		—	—	△296	△103	△400
2015年6月30日残高		7,945	7,962	70,767	11,011	81,778

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,286	3,372
減価償却費及び償却費	1,854	1,974
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△101	△16
受取利息及び受取配当金	△43	△38
支払利息	69	104
固定資産売却損益 (△は益)	△12	△1
固定資産廃棄損	5	17
特別退職金	—	63
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,956	△1,292
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,109	1,163
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,024	3,313
その他	△1,906	△1,883
小計	4,329	6,777
利息の受取額	42	38
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△68	△104
特別退職金の支払額	—	△222
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,197	△914
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,107	5,575
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△409	288
有形固定資産の取得による支出	△2,643	△3,369
有形固定資産の売却による収入	92	330
無形資産の取得による支出	△63	△133
貸付による支出	—	△5
貸付金の回収による収入	36	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,987	△2,889
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△831	1,131
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△54	△38
長期借入金の返済による支出	△1,009	△801
配当金の支出額	△282	△296
非支配持分への配当金の支出額	△85	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,260	△108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△192	384
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,333	2,963
現金及び現金同等物の期首残高	17,881	17,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,548	20,555

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、各々の現地法人においてそれぞれ独立した経営単位であり、取締役会及び取締役会から選定された取締役によって構成される経営会議において、経営の重要事項について審議し、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、地域毎に取締役本部長・担当取締役等が任命されており、担当地域の包括的な戦略の立案を統括し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントの主な地域は、以下のとおりです。

報告セグメント		主要な製品及びサービス
日本	日本	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品、その他） 自動車部品二輪 汎用製品組立及び汎用部品 その他
北米	米国 メキシコ	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品、その他） 自動車部品二輪
アジア	フィリピン インドネシア タイ インド	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品） 自動車部品二輪
中国	中国	自動車部品四輪（排気系部品、駆動系部品）
その他	英国 ブラジル	自動車部品四輪（排気系部品）

2. 報告セグメントごとの売上収益、損益、資産及びその他の情報

当社グループの前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	6,295	12,082	5,801	9,552	1,645	35,374	—	35,374
セグメント間の内部売上収益	4,906	105	355	282	0	5,648	△5,648	—
計	11,201	12,187	6,156	9,834	1,645	41,022	△5,648	35,374
営業利益又は損失（△）	200	795	632	1,708	△70	3,265	57	3,322
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	43
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	79
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	3,286

(注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。

3 営業利益又は損失（△）の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	要約四半期連結財務諸表計上額
	日本	北米	アジア	中国	その他	合計		
外部顧客への売上収益	4,918	15,137	6,372	12,131	1,851	40,408	—	40,408
セグメント間の内部売上収益	3,940	271	1,069	311	5	5,596	△5,596	—
計	8,858	15,408	7,440	12,442	1,856	46,004	△5,596	40,408
営業利益又は損失(△)	△341	781	230	2,538	△35	3,173	273	3,445
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	38
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	111
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	3,372

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は、市場実勢価格に基づいております。  
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。  
 3 営業利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。